

脚下照顧

「凡時徹底と地球防衛軍とテクアTシャツの関係」



ついにテクアのTシャツが完成しました！安全大会のときに参加賞としてみなさんにお渡しいたします。背中には「凡事徹底」の4文字が刻まれています。

「凡時徹底」とはどういう意味かと申しますと「誰にも出来る平凡なことを誰にも出来ないくらいに徹底して継続する」という意味です

。通常、会社が成長発展する為には、何か特別な知識や技量や人材が必要と考えがちですが、実は人が見過ごしたり、見捨てたりした平凡な事柄を一つ一つ大切に積み上げることでいつしかそれが大きな力となる場合の方が多いといわれています。われわれの「安全」という部分で考えてみても、偉い人がたくさん集まって長時間会議をして最高のアイデアとチェックシートと安全委託体制を整えたとしても「究極の安全」が確保されるわけではなく、実は業者さんの作業する後ろを黙々と腰をかがめてごみを拾ってついていっている安全最高責任者の後姿に将来成し遂げられるかもしれない究極の安全体制の可能性を見るべきで、実際そういう方を現場で目撃したことがあったのですが、業者さんに不思議な落ち着きを感じられ、場に安心感が漂っていました。

今、テクアの社員には一日十個のごみを拾うという掟があるのですが、月に一回は早朝、遠征して1号線沿いや岡崎インター付近のごみ拾いを実施しています。岡崎の少年達によるホームレスの方達への暴行殺人事件が同じ岡崎に住む者として、同じ子を持つ親としてあまりに悲しかったことと、そのことに無関心で日々「あー今日は儲けたなー あー今日の仕事は楽勝だったなースカッと行こうかスカッと！」で終わってしまうことに耐えられなくて、何でもいから岡崎の「大人」として、子ども達に見せられる「背中」を作りたいと願い実践しています。アルバイトのみなさんも感じるところがありましたらぜひ参加してみてください。意外に楽しくて熱中してはまってしまうですよ！（笑）

今、日本人の半数以上が理由のはっきりしない漠然とした不安感に包まれているといわれています。冬なのに半袖で過ごせたり、親子の殺人事件が頻発したり、公園のステンレス製のすべり台やお墓の線香皿が盗難にあったり、不気味な出来事が多すぎてもっともなことだと思います。でもわれわれはあまりにも投げやりに、すべての不気味な出来事を単にTVの画面の中でのことと片付けて傍観していると思いませんか？そのツケが回ってきているような気がします。

電気の使い放題、なんでも使い捨て、仕事が忙しくて子どもの世話は妻任せ、ボランティアは暇人のすること、宗教は変人のすること、個人の自由が絶対権利、儲けて何ば、ブランドと金がすべて。そんな日本人の戦後60年間のツケが一気に回ってきていると思います。

「ちえ、こんなことして何になるんだよ〜」「どーせ人前だけだろ、やってるのは！」「意味ねえじゃん！むだむだ！」そんな声が聞こえてきます。まったくそのとおりだと思います。でもそれでも何かのアクションを一人ひとりの「大人」が起こしていかなくてはいけない時期にもうすでに来ていると思います。これは「差し迫る不気味」との戦いです。電気のスイッチをこまめに切るとかタバコのポイ捨てをやめて、今までの人生で捨ててきたであろう本数を計算してみてその分を拾う人間に変身するとか、戦い方はいろいろありますが基本理念は「凡時徹底」です。コツコツと継続していくことが大切だと思います。

安全大会のときにTシャツ以外にもMY箸（マイはし）もプレゼントします。引きこもりの子ども達が製作したというMY箸です。朝のコンビニでかわいい店員さんに「箸はお付けいたしますか？」と聞かれたら、「自分は地球環境に対して凡時徹底ですからマイハシしていますので結構です」と高倉健さんのように渋く決めてください。ついでにレジ袋も持参しているとキング・オブ・テクアです。私はこれでMY箸は3本目ですが未だに使えていません。「凡時徹底」は男の一生の課題として背中に刻み付けなくてはなりません。これがテクアTシャツの由来です。男なら安全大会必ず出席してください！。本日もご安全に！

感謝！

羽原篤史

